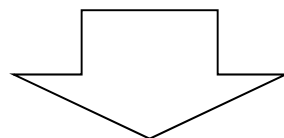

5. サプライチェーン排出量の削減に向けて

- サプライチェーン排出量の算定・開示が出来たならば、次はサプライチェーン排出量の削減へ



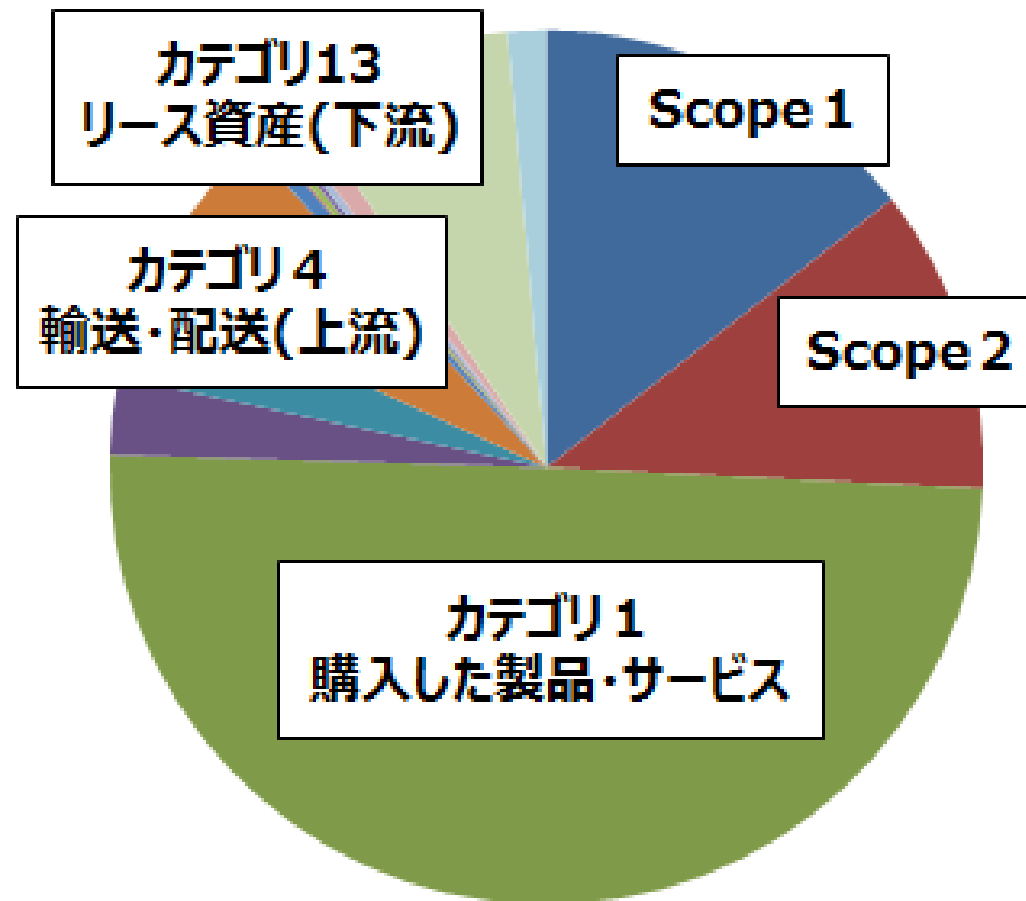
サプライチェーン排出量の削減・・・
排出量の大きいカテゴリから取組もう！



サンプル事例を通して削減対策を検討

- サプライチェーン排出量データから、優先的に削減するカテゴリを決定する

□ B食品のサプライチェーン排出量データ



⇒ 排出割合の大きいカテゴリ1の削減対策を実施したい・・・

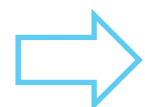
B食品におけるカテゴリ1の削減対策

- カテゴリ1の中でも大きな割合を占める、原料である農作物の生産に由来の排出量を削減する

農作物由来の排出量なんて、
どう削減すればいいの・・・



【課題】

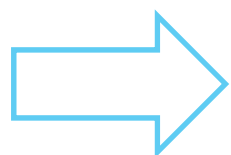


排出量の大きいカテゴリから取組もうとしても、簡単に削減できるとは限らない

■ 「削減」のステップでの典型的な課題（悩み）

サプライチェーン排出量は・・・

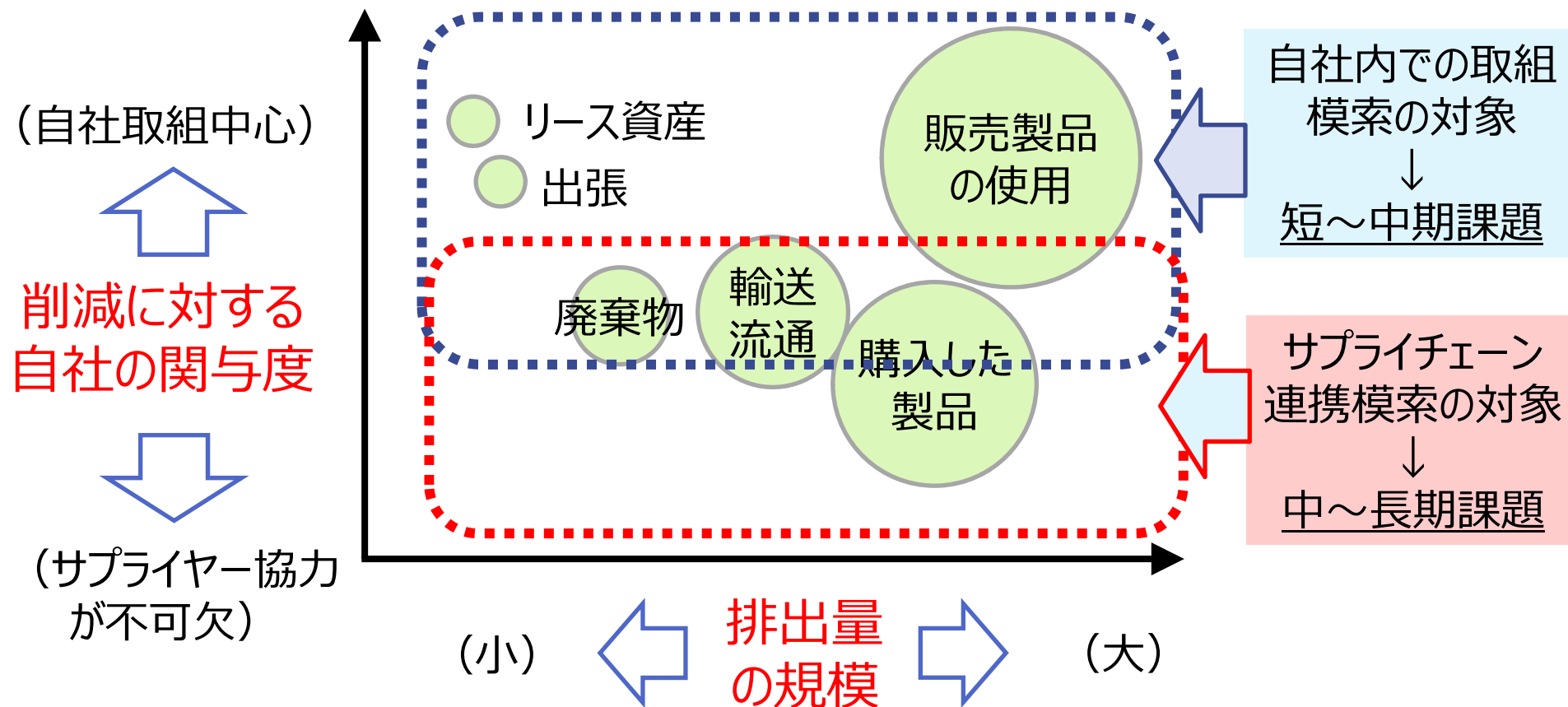
規模がわかってても、削減への取組み易さはわからない。
→ 算定しただけでは、削減取組の方針が立たない。



これを解決する「分析・評価」のイメージは・・・

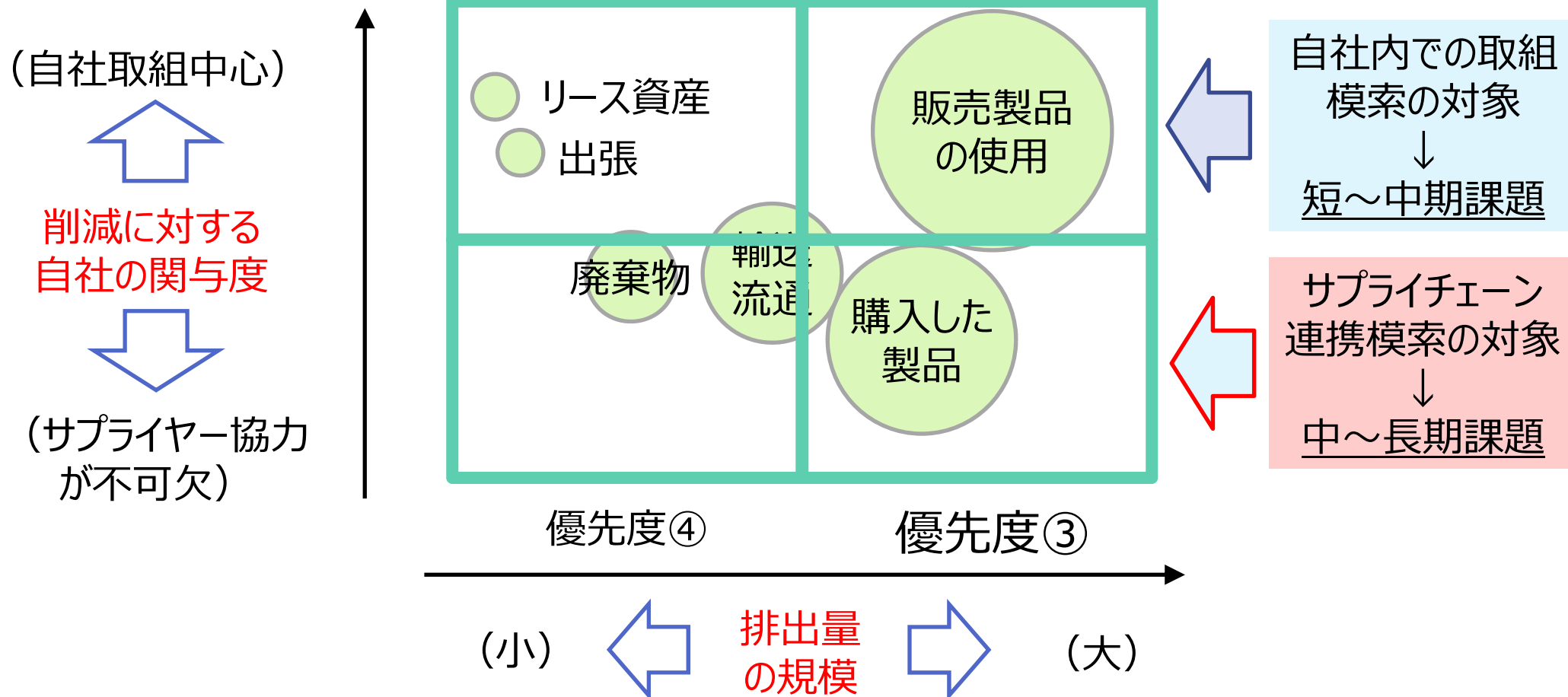
- 排出規模に加えて、「削減に対する自社の関与度」(例) 等の切り口を加えることで、排出量データを多角的に分析する

【分析の一例】



削減対策の優先順位づけ

【分析の一例】

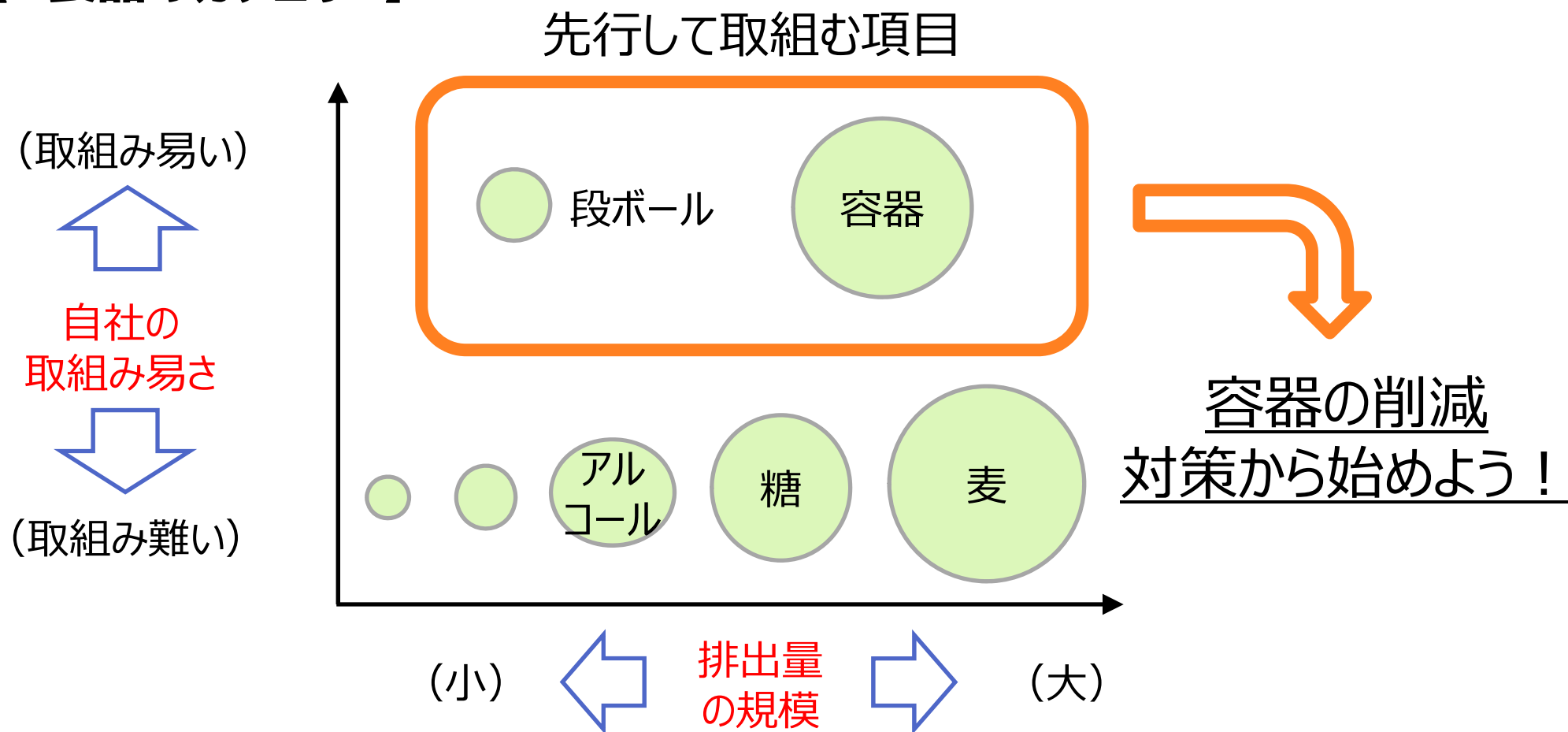


- 規模が大きく取組みやすい右上象限から対策を練るなど、優先順位づけがポイント。出来るところから取組みを広げて、長期的に削減対策を実施

B食品を分析してみる

- 例えば、B食品のカテゴリ1を自社の「取組み易さ」の軸を加えて分析

【B食品のカテゴリ1】



- 【容器を起点とするB食品のサプライチェーン排出量削減イメージ】
- 容器のサプライヤーの削減対策は、B食品のサプライチェーン排出量を削減
- サプライヤーにとっては自社の低炭素製品を売り込むビジネスチャンス！

サプライヤー

容器製造時の
新規技術の採用



- (例)
- ・容器の軽量化
 - ・容器製造の効率化
 - ・新規原料の採用（リサイクルプラ、バイオプラ）

B食品

サプライチェーン排出量の
削減！

- (例)
- ・カテゴリ1（購入した製品・サービス）
 - ・カテゴリ4（輸送・配送（上流））
 - ・カテゴリ9（輸送・配送（下流））
 - ・カテゴリ12（販売した製品の廃棄）

カテゴリ1の削減目標例

企業名	国・セクター			目標				
	国	地域	セクター	Scope	基準年	目標年	単位	概要
HP	米国	北米	ハードウェア・設備	Scope3 カテゴリ1	—	2025年	—	サプライヤーの80%にSBT目標を設定させる
Land Securities	英国	欧州	不動産	Scope3 カテゴリ1	—	2023年	—	主要取引先である建設企業にもSBT目標設定を推奨
イオン	日本	アジア	小売	Scope3 カテゴリ1	—	2021年	—	サプライヤーの80%にSBT目標を設定させる
第一三共	日本	アジア	医薬品	Scope3 カテゴリ1	—	2020年	—	主要サプライヤーの90%に削減目標を設定させる
ナブテスコ	日本	アジア	電機・機械	Scope3 カテゴリ1	—	2030年	—	主要サプライヤーの70%にSBTを目指した削減目標を設定させる

⇒ サプライヤーに目標設定をさせる対策もある！

その他の削減目標例



企業名	国・セクター			目標				
	国	地域	セクター	Scope	基準年	目標年	単位	概要
Adobe	米国	北米	ソフトウェア・サービス	Scope3 カテゴリ3	2015年	2025年	原単位	自社及び自社設備由来の燃料・電力に関連する平方フィートあたりの排出量を15%削減
				Scope3 カテゴリ6	2015年	2025年	原単位	従業員あたりの出張に係る排出量を5%削減
電通	日本	アジア	メディア	Scope3 カテゴリ6	2015年	2050年	原単位	従業員あたりの出張に係る排出量を25%削減
EVERY ASA	ル ウェー	欧州	ソフトウェア・サービス	Scope3 カテゴリ7	2016年	2050年	総量	通勤に係る排出量を66%削減
アシックス	日本	アジア	その他製品	Scope3 カテゴリ 1・12	2015年	2030年	原単位	購入した製品・サービスと販売した製品の廃棄からの排出量を55%削減